

新規採用職員紹介

(令和5年1月1日採用)



安部由香利
(奥出雲病院 管理栄養士)

これまでお世話になった地域の皆さまに恩返しができるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



吉川麻衣子
(奥出雲病院 栄養士)

地元である奥出雲町へ家族で引っ越して来ました。ご縁あって奥出雲病院栄養管理科でお仕事させていただけることになり、大変嬉しく思っています。よろしくお願いいたします。

転出届が マイナポータルから オンラインで可能に!

マイナンバーカードを所有している人は令和5年2月6日から、マイナポータルからオンラインでも転出の届出ができるようになります。(※世帯の状況によっては、窓口へお越しいただき水道・下水道等の手続きが必要となる場合があります。)

詳しくはデジタル庁ホームページをご覧ください。
なお、マイナポータルを通じて転出届の提出をした後は、別途、転入先市区町村の窓口で転入届等の手続きが必要です。



デジタル庁ウェブサイト
政策ページQRコード

【お問い合わせ】

町民課 有線31-5103 電話54-2510

町内の郵便局での 証明書交付サービスを終了します

証明書発行に使用するファクシミリ機器の保守の終了のため、令和5年3月31日をもって、次の各郵便局における証明書交付サービスを終了します。

八代郵便局・牟高郵便局・阿井郵便局・三沢郵便局・鳥上郵便局・八川郵便局・馬木郵便局
※仁多・横田郵便局では行っておりません

今後はマイナンバーカードを活用したコンビニ交付による証明発行サービスの導入に向けて準備をすすめてまいります。コンビニ交付の導入時期については、改めてお知らせします。

【お問い合わせ】

町民課 有線31-5101 電話54-2510

令和4年度 電源立地地域対策 交付金事業

大仁農道の舗装改修工事を行いました

電源立地地域対策交付金は、ダムなどの発電施設所在市町村に対し、住民の利便性向上のための事業や、地域の活性化を目的とした事業を支援するために国から交付される交付金です。

この交付金を活用し、平成30年度から大仁農道の経年劣化の著しい区間について舗装改修工事を継続して実施しており、今年度は110mを改修しました。これにより、通行車両への影響が小さくなり快適な通行が期待されます。



町立奥出雲病院コーナー

『訪問リハビリテーション』を紹介します

Q 訪問リハビリテーションではどんな事を行っているの?

A 訪問リハビリとは理学療法士、または作業療法士がご自宅に訪問して、心身機能の維持・回復、日常生活動作の向上等を目標に運動や、環境調整、介助方法のアドバイス等を行うサービスで、利用者の方がその人らしい在宅生活を過ごされるように支援するものです。

Q 実際に自宅に訪問して利用者に、どのようなリハビリをされていますか?

A ご自宅に伺うと、前回のリハビリ後から何か変わった事が無かったかの大変になってきたため、痛みの軽減と移動動作の維持・向上等を目標に関節を動かす練習、足の力を付けるための筋トレを行っています。これらの運動を行った後、実際に移動する場所を使って歩く練習をします。また、必要に応じて福祉用具の提案や、介助方法の説明等もさせていただきます。

今ご紹介したもの以外でも、寝起きの練習や家事動作の練習、他者と関わる事での閉じこもり予防等のリハビリが可能です。
訪問リハビリをご希望の方はかかりつけ医、または担当ケアマネジャー等にご相談下さい。また、下記の「お問い合わせ先」にも、お気軽にお問い合わせ下さい。



環境にもお財布にもやさしい 生活にチャレンジ!!

エコバックは何回 使ってますか?

レジ袋を使い捨てるより環境に良いと思って使われているエコバックですが、製造する際にも環境負荷がかかっていることを忘れてはいけません。エコバックを何回繰り返し使えば、レジ袋よりエコになるのでしょうか。

不織布製でも10回以上、綿製品なら130回以上繰り返し使用して初めて、レジ袋よりも効果が現れます。材質により異なりますが、50回から150回以上は繰り返し使いましょ。

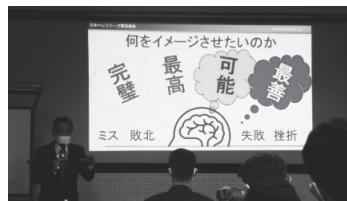
エコバックには、ペットボトルをリサイクルしたポリエステルで作られている商品もあります。

購入する時に、何が賢い選択か考え、よりEcoな選択を試みましょう。



横田高校の活動をお知らせする「よここうコーナー」

PTA講演会を行いました



12月18日(日)、トレーナーズスクエア(株)代表取締役社長岩崎純純さんを講師としてお招きし、「ベップトーク」やる気を引き出す魔法の言葉」と題して講演をしていただきました。
日本初のアスレチックトレーナーとして活躍された岩崎さんが、アメリカのさまざまなスポーツの現場で感じた「ベップトーク」の魅力を熱く語ってくださいました。「ベップトーク」とは、「短く・分かりやすい言葉で、肯定的な言葉を使い、人の魂を揺さぶり、その気にさせる」伝え方のこと。参加した保護者、教職員からは、次のような感想が寄せられました。
「子どもが何かに挑戦しようとしているとき、最初に前向きな結果をイメージさせるような声掛けが大事だということがよく分かった。」「とらえ方変換」の例が参考になった。自分もつい否定的なとらえ方をしていることがあるので、見方を変え、大事な時こそ前向きな言葉を使うようにしたい。」「横田高校が前向きな言葉で満たされ、誰もが素晴らしい未来をイメージして生活できる場になった。」